

市議会だより



平成20年7月発行
No.10

なんたん



願いが
叶いますように

七夕まつり(シンボルロード 園部町)

主な内容

6月定例会報告.....	2
委員会質疑.....	3
条例の制定・改正.....	4
一般質問.....	6
委員会活動報告.....	12
特集記事.....	14

発行 / 南丹市議会
編集 / 広報特別委員会

〒622-8651
京都府南丹市園部町小桜町47番地
TEL.0771-68-0059(直通)
FAX.0771-63-0350
e-mail gikai@city.nantan.kyoto.jp
http://www.city.nantan.kyoto.jp

6月定例会

平成20年6月定例会は、6月3日に開会し、26日に閉会しました。開会日には10件の専決処分、報告、5件の平成19年度各会計繰越明許費繰越計算書報告がされ、4件の条例改正、2件の補正予算が提案されました。10日、11日の2日間、12人が一般質問を行いました。

17日から19日にかけて、各常任委員会が開催され、付託された議案の審議を行いました。26日には付託議案の各委員会報告の後、討論、採決を行ない、いずれの議案も可決承認しました。その後、高齢者医療制度について、廃止を求める意見書と、存続、改善を求める意見書の2案が提案され討論、採決されました。「改善を求める意見書」は賛成多数で採択されました。

平成20年度一般会計補正予算(第1号)【全員賛成】

6,578万円を追加

総額 218億6,578万円の予算に

歳入の概要

国庫支出金	91万円
府支出金	752万円
財産収入	1,309万円
繰入金	4,426万円

合 計 6,578万円

歳出の概要

総務費	408万円
普通財産管理費、組織改革関連事務費等追加	
民生費	4,565万円
福祉医療費支給事業、すこやか子育て医療費助成等追加	
農林水産業費	352万円
京のがんばる農家緊急支援事業等追加	
土木費	1,074万円
栄小山東町線等道路用地購入等追加	
教育費	179万円
学校評価実践研究事業、読書指導員配置事業等追加	

合 計 6,578万円

平成20年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)【全員賛成】

2,191万円を追加

総額 37億2,811万円の予算に

歳入

老人保健医療費拠出金
..... 2,191万円を追加

歳出

保険事業基金繰入金
..... 2,191万円を追加

委員会での主な質疑

問 新設しようとする課は
どういったものか。

答 名称は総合政策課で、
企画管理部の中に設ける。
人員は4名。行政改革の専
門部門と企画立案部門を
位置付ける。

問 来年度から適用する
とする「市民税の年金からの
天引き」が専決処分されてい
るが、議会の議決権の侵害
ではないか。

答 国で一括し法律で決定
したものであり、分割して
一部を専決、一部を条例
提案とするより、国と同一
歩調で実施するほうがよい
ということと専決したもの
である。

問 今後の専決処分のあり
方をどう考えているのか。

答 今後は事例をより十分
精査し、議会の権能を侵さ

ないよう対応していきたい。

問 河川改修維持委託料
80万円が増額補正されてい
るが。

答 作業日報等の提出によ
る実績に応じて平等に割り
振りする。

問 京のがんばる農家支援
事業として257万円が計
上されているが。

答 原油の価格の高騰等に
より農業生産のコスト高に
対しての緊急対策事業であ
る。省エネルギー型の田植え
機、乾燥機の導入にかかわ
る経費に対する補助金であ
る。市内の4組織が対象。

問 殿田小学校の関係で、
今回の給食棟の工事請負で
終了か。更に費用がかかるの
か。

答 建物としては給食調

理場が最終の議会案件であ
る。中学校に隣接する旧調
理場の撤去費用とグラウンド
造成工事費が残っている。

問 南丹市地域福祉計画
が策定された。計画はどの
ようなものか。

答 重点プロジェクトとして
「地域防災を切り口とした
地域福祉活動の推進」「ネッ
トワークとコミュニティづく
り」「市民参加型の日常生
活支援サービスによる助け
合いのシステムづくり」「地域
の福祉拠点づくり」を掲げ
ている。5年後に見直しを行
なう。

問 南丹市地域福祉計画
の具体化は

答 美山町の宮島振興会、
八木町の南自治会の2地区
をモデル地区に指定し準備
を進めている。

賛成討論(要旨)

活緑クラブ

川勝 儀昭 議員

今回、一般会計の民生
費において福祉医療費支
給事業やすやか子育て
医療費助成事業等に4
565万円が補正計上
されている。3月定例議
会において関連する条例
改正案が全会一致で否

決となった。我々議員は
合併協議により旧四町
から人口割合において
おおよそ均等割合で選
出されている。全市にわ
たる住民の皆さんの代表
として、全市の住民の意
見や思いを受け止めた中
で、否決という議決結
果であったと確信する。
その議決を市長みずか
ら真摯に受け止められ

今議会において現行通り
の施策として補正予算
を組まれたことは、まさ
しく民意の反映であり、
子育て支援や福祉施策
の向上につながるもので
ある。市長の公約通り、
現行施策に加え、ます
ますの子育て支援と福
祉施策の向上につながる
ものと確信し、本提案
に対し賛成とする。



7月6日、第1回南丹市消防団操法大会

- ・小型ポンプ操法の部...美山支団第1班が優勝
- ・ポンプ車の部.....美山支団が優勝

7月27日の京都府消防操法大会に出場

条例改正

南丹市条例の一部改正5議案、

他3議案を全員賛成で可決

南丹市税条例の一部改正他3報告、

南丹市補正予算6報告の専決処分を承認

今議会において、条例の一部改正・廃止等8議案が提出され、審議の上全てを可決しました。

災害補償条例の一部改正
南丹市監査委員条例の一部改正

保険事業特別会計補正予算（3号）
平成19年度南丹市市営バス運行事業特別会計補正予算（3号）

また、3月末の税法改正に基づき専決処分された南丹市税条例の一部改正他3報告・補正予算6報告を審議の上、承認しました。

南丹市道路路線の廃止
南丹市道路路線の認定
南丹市道路路線の変更
（以上全員賛成で可決）

平成19年度南丹市簡易水道事業特別会計補正予算（4号）
平成19年度南丹市下水道事業特別会計補正予算（5号）

南丹市放課後児童健全育成事業に関する条例の一部改正

南丹市福祉医療費の支給に関する条例の一部改正

南丹市都市計画税条例の一部改正

南丹市立保育所入所児童通園バス使用料条例の一部改正

平成19年度南丹市一般会計補正予算（5号）
平成19年度南丹市国民健康保険事業特別会計補正予算（5号）

南丹市手数料徴収条例の一部改正
（以上全員賛成で承認）

南丹市農業集落排水処理施設条例の一部改正

南丹市消防団員等公務

平成19年度南丹市老人

（賛成多数で承認）

専決処分

【南丹市税条例の一部改正の専決処分について】

賛成討論(要旨)

法律の改正に伴う税条例の改正は、個々の改正条文の施行日を確認し、真に暇がない改正部分のみ専決処分とし、次に開催される議会で審議をしても施行期日との関係上問題がないものは議会に諮るように、慎重な取り扱いをしなければならぬとされている。

今回の専決処分の扱いは、府内市町村により異なり、一括で専決を行ったのは、6市町村、分割で行ったのは、8市町村となり、市民の目線で、対応する市町村長と、行政の立場で処理をする南丹市長の政治姿勢が明確に示された。

反対討論(要旨)

日本共産党・住民協働市会議員団
高野 美好 議員
条例の制定、改廃については地方自治法において、議会の議決を経ること」となっている。しかし、議会を招集する時間的余裕がないときは「専決処分」できるとも定められている。

また、市民の目線に立ち、真剣に検討すれば、すべてを専決処分するとはならないはずであり、職員の資質も問われるところである。

後期高齢者医療制度についての意見書をめぐり討論、採決

「廃止等を求める意見書案」と「早期改善を求める意見書案」がそれぞれ、議員提案されました。

廃止等を求める意見書の賛成討論

75歳という年齢を重ねただけで今まで加入していた医療保険から強制的に追い出し、高い保険料は断りもなく年金から天引きされる。その上包括診療などで医療の制限が行なわれるなど空前の改悪制度である。医療削減のために高齢者を差別する制度であり、廃止するしかないものである。

賛成討論(要旨)
日本共産党・
住民協働市会議員団
大西 一二 議員

保険料は2年毎に見直しですが、天井知らずに引き上げがされる仕組みである。また、滞納すれば、保険証を取り上げるなど、高齢者の命を軽んじ、血も涙もない制度である。日本は今まで古希、喜寿、米寿と老人を敬う社会であったものが、年寄りを疎んじる社会になってしまつた。

後期高齢者医療保険制度は単なる見直しでなく、廃止、白紙に戻し一から議論をし直すべきである。

早期改善を求める意見書の賛成討論

賛成討論(要旨)
活緑クラブ
藤井 日出夫 議員

私は議員の中では年長の域にあり、また、年金受給者の一人として、このたびの長寿医療制度の仕組みについてはいささか不安を抱いている一人である。長寿医療制度は私たちにもわかりやすい制度であるべきと考える。今、少子高齢化の我国において医療保険制度を維持することは大変で

あると認識している。戦後の復興を支え今日の日本社会を築き上げられた高齢者の方々が安心して老後を過ごす社会でなければならない。その為には安心して医療が受けられる保険制度が必要であり、今一度充分検討し幅広い議論が必要である。国民的視野にたつた医療制度や家族のあり方も含めた内容であると考え、本意見書の賛成討論とする。

長寿(後期高齢者)医療制度の早期改善を求める意見書

超高齢化社会を迎え、このままではわが国の医療を支えることが困難との認識から、平成18年6月健康保険法等の一部が改正され、従来の老人保健制度を廃止し、75歳以上の高齢者等を対象とした長寿(後期高齢者)医療制度が、京都府では、府内全市町村で構成する「広域連合」のもとに平成20年4月1日からスタートした。

この制度の実施にあたっては、法施行前から既に一定の激変緩和措置が設けられたものの、被扶養者の新たな負担や年金からの引落しによる保険料の負担感とともに、高齢者担当医の導入等、高齢者の生活に与える影響が大きく、多くの課題が指摘されているのが事実である。

その上、導入から約2カ月が経過する中で、制度自体の周知不足と準備の遅れ等により、保険証の未到達や年金からの引落しをめぐるトラブルが全国的に相次いでいる。

こうした混乱がこれ以上広がれば、制度に対する失墜はもちろんのこと、医療不安につながることが危惧される。国は、制度の意義について国民にさらに理解を求めるとともに、医療不安を払拭するための改善努力が求められる。

よって、国におかれては、次の事項について特段の措置を講じられるよう、強く要望する。

- 1 75歳以上の高齢者等にも、わかりやすい簡素な制度内容とすること。
- 2 医療給付費に占める公費負担割合を増し、高齢者等の負担割合が軽減されるよう見直すこと。
- 3 制度の問題点を明らかにした上で、全ての高齢者が安心して医療が受けられるよう、早急に制度の改善を行い、将来にわたって持続可能な医療制度の確立を図ること。
- 4 制度内容の周知徹底を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

内閣総理大臣 他

平成20年6月26日

京都府南丹市議会議長 吉田繁治

「長寿(後期高齢者)医療制度の早期改善を求める意見書」を提出

意見書は賛成多数で可決し、国に提出しました。

佐々木市長にまちづくりを問う

一般質問

6月定例会では、12人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。（質問順に掲載）

京都中部圏の 広域行政の取り組みは



南風会
西村 則夫 議員

市長 計画の具現化にむけ研究会を立ち上げる

問 京都中部地区の亀岡市、南丹市、京丹波町が広域行政の推進を図るため、広域交通網の整備など取り組みがなされてきた。今回第4次計画が策定されたが、今後の具体的な取り組みは。

市長 広域圏事業として今日まで、船井郡衛生管理組合、公立南丹病院、中部広域消防組合などが取り組んできた。今後も広域交通ネットワーク計画などの具現化に

住民理解と住民協働による まちづくりが重要



丹政クラブ
森 為次 議員

市長 市民の理解のもと市政運営に努める

問 厳しい財政状況の中、施策見直しなど行財政改革に取り組んだ市政推進を行なっているか、住民の理解し協力がなされているのか、また、方向性も見えにくくなっているのではないかと、住民協働といわれるなかで、健全な行政運営のために信頼を得ながら住民パワーと地域力を大いに活用し真の協働のまちづくりに取り組むことが重要と考えるが市長の見

解を伺う。

市長 今後の市政推進の中で市民理解を得る為行政懇談会や市民説明会の実施を今検討している。また、市民のみなさまにどのような役割を担っていただけるか、行政はどういう役割を担うのか、十分協議し、市民協働推進プロジェクトチーム設置要綱、また、市民と共に担うまちづくり手方検討委員会設置要綱を定め、理解のもと市政運営に努める。

問 南丹市営バスの運行については、スクールの確保、交通弱者移動手段の確保などを基本に検討されていると思うが、市としての考えは。更に昨年10月から運行されている八木町内のバスは、運行時間、路線、停留所が不便である。9月までの試行運行となっているが、継続基準は。

市長 私所有地の活用による商業核施設の早期取り組み本町通りの整備及び交差点の供用開始について、地権者等の十分な意見を賜り出来る限り配慮していきたい。また、JR複線に伴いバス等の乗り入れを検討していきたい。

市長 南丹市地域公共交通会議で協議願っている。今日までの経過や財政面も含め、利用しやすい運行に努める。園部八木線については、利用状況や市民ニーズなど十分精査し検討する。

問 行財政の健全化については、行政改革大綱によって進められているが、20年度予算も大変厳しい。自主財源は30%、借入残高は一般会計・特別会計あわせ市民1人当たり

問 市街地再開発の進捗率が50%を超えたいま、市の中心市街地としての役割を果たす為の取り組み課題について伺う。

市長 教育行政機関及び学校、園とも連絡体制が取れるようになってきている。また、協力要請をお願いしPTA・地域見守り隊により登下校の安心安全につとめている。今後警察や広域的情報の共有を図り速やかに連絡が行なえる体制づくり、発信情報の一元化のメールも検討中である。

191万円となる。今後の健全化の取り組みとふるさと納税について伺う。

市長 財政健全化に関する法律ができた。今後の財政運営には相当な覚悟が必要であり市民にも説明していく。7月に行政改革推進体制をつくる。ふるさと納税は財源確保として取り組んでいく。

問 学校教育関係の緊急時の対応について伺う。

教育長 教育行政機関及び学校、園とも連絡体制が取れるようになってきている。また、協力要請をお願いしPTA・地域見守り隊により登下校の安心安全につとめている。今後警察や広域的情報の共有を図り速やかに連絡が行なえる体制づくり、発信情報の一元化のメールも検討中である。



日本共産党・住民協働市会議員団
高野 美好 議員

持続可能な農業経営が 求められているが

価格補償等議論する必要がある **市長**

問 我が国の食料自給率は39%にまで低下するとともに、農業従事者の45%が70歳以上という高齢化が進行している。米価は1俵1万3千円にまで下落している。先般、官房長官が「減反を含めて農業政策を根本から見直すことが必要だ」と発言したが、この発言を聞きどのように思われたのか伺う。

市長 自給率39%という現状は異常であるし、減反はもったいない。しかし

市長 農業は市場原理

問 日本共産党は「農業再生プラン」を発表した。その中で、米価は生産費となる1俵1万7千円を基準とし、その基準を下回った場合その差額を不足払いする制度の創設を提言した。持続可能な農業経営の実現と小規模農家や生産組織への指導と援助のありかたは、

市長 農業は市場原理

問 中国四川省で大規模地震が発生し、小中学校の校舎倒壊による被害が大きいと伝えられている。本市の小中学校施設の補強・改築の総費用は17億円程度と見込まれているが、工事完了まで何年かかるのか。また、小規模校の中に耐震補強が

市長 21年度から7年計画で実施する予定だが、財政厳しい状況なので、国の動向等を勘案しながら検討する。構造耐震指標を尊重して検討しているので、小規模校を下位に集結させてはいない。



活緑クラブ
矢野 康弘 議員

男女共同参画社会の 拠点施設の充実を

今後、計画策定等に全力を尽くしたい **市長**

問 去る3月総務常任委員会で、園部女性の館を男女共同参画社会の拠点施設にすると答弁があった。平成5年に女性の文化活動の拠点とし、またネットワークを広げる学習の場として女性の施設として建設された。女性の館条例の目的にも、女性の社会参加を促進し、女性の多様な能力を開発していく社会的条件づくりの場として設置する。これを今回は男女共同参画社会の拠点施設にすると

言う。

男女共同参画社会について仕事と生活と調和（ワークライフバランス）の推進が極めて重要であると言われている。一般住民も入りやすく、利用しやすい施設にする必要がある。施設管理も常勤職員や相談員、その他職員も配置して充実した職員体制が必要と考える。また、大規模改修も必要で、会議室、調理室、相談室や玄関も入りやすいものにする必要がある。ま

市長 男女共同参画社会

た、名称も検討する必要がある。新市建設計画や南丹市総合計画にも行動計画の策定を明記している。旧園部町は15年前から活動している。全市に広げることになると現在の行動計画を見直す必要がある。今、講座に4千人の受講者がある。これを継続し発展させる必要がある。また、条例の制定も必要である。今後どのように推進していくのか考えを伺う。

市長 指摘の箇所について地元の見解を聞き、できる限り対応したい。

問 園部町上木崎町の中央道路の改修について狭溝に脱輪し動けなくなつた事象がある。改修を要請する。

園部町農業公社

園部小学校



副市長の職務権限の現状は

活緑クラブ
松尾 武治 議員

市長 政策・企画の指揮監督を行うが、現状は出来ていない

問 多様な行政ニーズ、複雑化する社会情勢、特に危機的な財政、合併後のまちづくり、少子高齢化を取り巻く様々な課題が山積している。自治法に基づき市長の権限の一部を副市長に委任し、迅速・的確な行政運営が必要と考えるが市長の見解を問う。

市長 政策、企画において指揮監督を行うとなつてはいるが、現状は出来ていない。高度化する市の

問 状況から副市長の権限・特命の結論を出したい。

市長 我が国の自給率の低迷を考えると、農地の保全は従来以上に必要となる。再生産に繋がらない国内農産物の価格では、農地の保全を個人の責任でおこなうことが困難となる。米に付加価値をつけ、有利な販売をおこなない、農家手取りを12%アップで清算するなど、農地の保全、農産物の販売に取り組まれている園部町農業公社と

同様な組織の整備が必要と考える。

また、J A 京都は消費者と生産者を結び、農産物の直売所を亀岡市篠町に開設され、市場原理の荒波を回避する販売に取り組まれる。条件不利地の農業政策には、多様な担い手組織の育成及び支援、南丹地域の入り込み客の誘致や米をはじめとする農産物をPRするアンテナショップの設置など、積極的な施策が必要と考える。

市長 条件不利な地域では、組織を立ち上げるなど尽力いただいている。国や関係団体の支援制度、また連携を強める制度などの紹介や、どのような制度や施策が活用できるのかの体制作りに努力したい。南丹市の美味しい「ほんまもん」の安心・安全」を紹介するホームページを立ち上げ、農産物の紹介、入り込み客増加に向けた努力をしたい。



学校施設の耐震補強について

丹政クラブ
橋本 尊文 議員

市長 南丹市建築物耐震改修促進計画を策定

問 中国四川大地震の発生は我々に多大な衝撃を与え、特に学校の倒壊は悲惨であった。政府は我が国においても早急な対応を示唆している。本市では13校27棟の補強・改築の必要性が判明しているが、現状をどのように認識し、また、即応した今後の対応について問う。耐震化問題は子供達の教育環境・行政運営の視点を鑑みると、学校規模の適正化に連動するとおもわれるが考

え方を問う。

市長 学校だけでなく、市民の安全・安心の確保は重要な課題である。今後、南丹市建築物耐震改修促進計画を策定する。

教育長 校舎の耐震化は早期に解決すべき課題である。IS値が0.3未満の10棟については3年以内の完了に努力したい。学校の適正規模については教育環境の基本的スタンスは堅持する中、ソフト・ハード両者並行して

考え、地域との十分な議論を進める。

問 園部町精神障害者家族会は障害者問題を強く社会に発信し、理解と協力を求め、障害者が安心して過ごせる「憩いの場」の設立に努力している。この社会的活動に対する支援について問う。

市長 保健所・福祉協議会・各施設と連携を深め解決に努力する。今後利用できる制度、支援施策についても考える。

問 市道美園小山西線は、内環状線の供用開始と共に利便性は向上し通行量も増え、事故の危険性が高まっている。安全対策としてのガードレール設置も必要と考えられるが、考えを問う。

市長 この路線は現在栄町交差点改良を進めている。今後、安全対策に対する施策を進める。ガードレールの設置も緊急的措置として必要と考える。対応を検討する。



丹政クラブ
森 嘉三 議員

旧町からの塩漬け 土地の今後の対応は

見直しを行い、新たな処分も検討 **市長**

問 土地取得関係の債務負担残額として、園部約14億、八木約11億、日吉約10億、美山約1億が残っている。利子が約8億円である。今後の土地活用、また売却処理など各旧町の事業内容はどうなっているのか。

市長 当初の事業目的に達成見込みの無いものは見直しを行い、新たな処分も視野に入れ早急に対応していかなければならない。

岸上副市長 市街地の活性化を図るための街路道路事業であり、夢かなえ橋と夢おい橋とがつながり新しい道路が出来る中で整理に取り組んでいく。

仲村副市長 今後、用地変更も含め有効利用を検討し、金利など負担軽減に早急に努めたい。

中島参与 今後は、地域振興会等とも一体となつて、エターンなど定住による販売に向けて地域ぐるみで努力を続ける。

國府参与 都市計画道路、八木ノ嶋北広瀬線の件は、国道477号と合わせて道路改修に向けた取組みの中で解決に取り組んでいく。

井ノ尻団地の残地については、駐車場用地としての検討を進めている。

浅野参与 早期解決に向けて、組織的な体制づくりも必要であり支所としても全力で取り組んでいく。

問 南丹市の火葬場が老朽化し、使用する際にも場所、施設状況など利用者に不便な状態である。今後の対策は。

市長 老朽化や利用の不便さなど課題がある中で、広域化また遊休土地活用も含め、次世代に過重な負担とならないよう、早急に課題解決に向けて検討を進めていく。



日本共産党・住民協働市会議員団
大西 一三 議員

国保税2割以上の負担増 軽減策は

国庫負担割合の引き上げを要望 **市長**

問 後期高齢者医療制度導入によって、国保税に「後期高齢者支援金」が加算された。国保加入者の負担はどうか。

市長 国保の運営自体に大きな影響を及ぼしている。

問 前年度より平均で2割も増えた国保税負担の現状をどう認識しているか。

市長 極めて深刻と考えている。医療給付費に対する国庫負担金の

割合の引き上げ等を国に要望している。

問 市民税や保険税の「年金からの天引き」についての所見を伺う。

市長 強制的に天引きすることは、腑に落ちない。全体として議論する必要がある。

問 一昨年末に法基準値を超えるダイオキシン類が検出され試験運転が行われてきた。その試験結果と今後のゴミ行政の見通しを伺う。

市長 それぞれの監督

官庁との連携を図り、指導を行っていく。カンボが再稼動すれば委託業も再開してもらう。21年4月以降の委託先については現時点で未定である。

問 カンポリサイクルプラザとの「公害防止協定」の全面的な見直しが必要と考えるが、ダイオキシン検査の回数増や自主基準値の採用など。

市長 特に見直す必要はないと考えている。

細目書にある「監視体制・情報公開・今後の検査方法」については十分に協議していく。

問 農村（周辺部）に人が戻り、若者が定住できる環境をつくるための具体的対策は。特に、周辺部小学校児童数確保のための行政努力が必要と考える。

市長 地域ごとに特徴があり地域の皆さんと連携を強める中で取り組んでいく。

美山中学校ランチルーム



子育て、福祉施策の 新たな見直しは

日本共産党・住民協働市会議員団
仲 絹枝 議員

市長 新たな形での提案を検討

問 3月議会で否決された子育て支援施策と、福祉医療費の見直しをされると思うが、「南丹市総合振興計画」の観点から、どのような見直しをするのか市長の所見を伺う。

市長 合わせて子育て支援策としても中学校給食を実施する時期にきていると思うが、教育長の見解を伺う。また、学校給食運営委員会の開催状況と、その内容を伺う。

市長 否決された条例案

問 3月議会で否決された子育て支援施策と、福祉医療費の見直しをされると思うが、「南丹市総合振興計画」の観点から、どのような見直しをするのか市長の所見を伺う。

市長 合わせて子育て支援策としても中学校給食を実施する時期にきていると思うが、教育長の見解を伺う。また、学校給食運営委員会の開催状況と、その内容を伺う。

市長 否決された条例案

問 3月議会で否決された子育て支援施策と、福祉医療費の見直しをされると思うが、「南丹市総合振興計画」の観点から、どのような見直しをするのか市長の所見を伺う。

市長 合わせて子育て支援策としても中学校給食を実施する時期にきていると思うが、教育長の見解を伺う。また、学校給食運営委員会の開催状況と、その内容を伺う。

市長 否決された条例案

問 3月議会で否決された子育て支援施策と、福祉医療費の見直しをされると思うが、「南丹市総合振興計画」の観点から、どのような見直しをするのか市長の所見を伺う。

市長 合わせて子育て支援策としても中学校給食を実施する時期にきていると思うが、教育長の見解を伺う。また、学校給食運営委員会の開催状況と、その内容を伺う。

市長 否決された条例案

区画整理予定の JR 吉富駅周辺



実情をふまえた 人権教育・啓発が必要

活緑クラブ
川勝 儀昭 議員

市長 関係団体との連携を深め推進する

問 差別落書きが南丹市内や亀岡市内において数件発生した。八木町では、三俣川農業水利権問題を部落差別の実態として捉え、行政課題との位置付けのもと様々な事業に取り組んできた。昭和39年、北屋賀地区より水利権差別の撤廃と水源の確保を要旨とした請願書が八木町議会に提出され、以降行政の責務として取り組まれてきた。ほ場整備事業等のハード事業は一定完了

市長 差別的な落書きは、市として重要な課題であり大変遺憾に思う。共通認識を深めて頂くため啓発ビラを全戸配布した。人権教育・啓発推進協議会や関係団体と

問 差別落書きが南丹市内や亀岡市内において数件発生した。八木町では、三俣川農業水利権問題を部落差別の実態として捉え、行政課題との位置付けのもと様々な事業に取り組んできた。昭和39年、北屋賀地区より水利権差別の撤廃と水源の確保を要旨とした請願書が八木町議会に提出され、以降行政の責務として取り組まれてきた。ほ場整備事業等のハード事業は一定完了

市長 竹井室河原線は京都府において国道とJR線をまたぐ立体交差計画が示された。市の支援は、都市再生整備計画の策定中であり府との協議を進め確定していく。京都市町村企業誘致連絡協議会と連携をはかり企業誘致等を考えていきたい。



丹政クラブ
谷 義治 議員

老人をめぐる諸問題について、 市長の認識と所見は

高齢者福祉を推進して、生きがいづくりに努力する **市長**

問 老人をめぐる諸問題について、市長の認識と所見について伺う。

後期高齢者医療保険制度は改善が必要と思うが。

高齢者世帯に生活困窮者が増加していないか。

介護は家庭・家族介護から施設介護にと、制度の考えとは逆の方向に行っていないか。また、施設にいつでも入所できるか。

高齢者に対する虐待

は起っていないか。こういった問題をトータル的にとらまえて対応することが必要と考える。

市長 後期高齢者医療保険制度は、国において改善して制度の維持を図る方向であり、市民に理解いただける方向を考えなければならぬ。

生活保護の受給者の約5割は高齢者であり、無年金者が多い。

核家族化、老々介護など、困難な状況が出ている、施設は早く設置し

る上で、早急に考えていかなければならぬ課題と認識している。

合併特例債の活用も平成27年までという観点もある。庁舎建築基金も大きな課題になってくる。

今後、内部的に十分な検討を続ける中で、市民の理解を得られる内容で調整したい。

問 集落等で保有、維持管理している「記名共有財産」は、木材価格の下落等で財政が逼迫している。

たが、待つて頂く状況になつていて。

19年度に相談件数は12件あった。虐待防止のため、ネットワーク会議を立ち上げ各種団体、機関とも連携し防止に努める。いずれにしても福祉介護、医療など一体と見て、高齢者福祉の推進にまた、生きがいづくりに努力する決意である。

問 財政運営は、市長の最重要な仕事であり大きな責務がある。そこで住民に対して、地域に入っ



丹政クラブ
村田 正夫 議員

新庁舎建築で 市民サービスの向上を

早急に考えなければならない課題 **市長**

問 今の庁舎は、ワンフロアーでなく係が分かりにくく、市民に不便を与えている。各教室に分かれているため、機構改革を行う際、部や課の拡大縮小がやりにくい状況である。

支所との連携、行政改革の推進には新庁舎の建築を英断し、市民サービスの向上を図るとともに、職員のモチベーションを上げるべきではないか。

行政改革の推進と、総合振興計画を着実に具体

化していくことが市の喫緊の課題である。

早急に庁舎建築基金を創設し、合併特例債の検討を図るべきではないか。

また、駐車場問題、周辺整備も検討すべきである。

市長 市民サービスの向上、効率的な行政運営を図る点で現庁舎に課題があると認識している。

駐車場を含めた周辺整備と本庁の問題は、効果的で効率的な行政運営と市民サービスの向上を図

る上で、早急に考えていかなければならぬ課題と認識している。

合併特例債の活用も平成27年までという観点もある。庁舎建築基金も大きな課題になってくる。

今後、内部的に十分な検討を続ける中で、市民の理解を得られる内容で調整したい。

問 集落等で保有、維持管理している「記名共有財産」は、木材価格の下落等で財政が逼迫している。

ている。管理日役もやれず、地域力低下が心配される。

まずは実態把握、管理や相続のやりやすい持続可能な「組織」の研究が必要。更には、森林組合との連携、水源税への取り組みも必要である。

市長 組織の新たなシステムへの制度改革を検討する必要がある。

日吉町森林組合のモデルとしての取り組み、水源税への制度の促進に努力したい。

総務常任委員会

4月30日

所管事務事業調査
として教育委員会、総務部出納課、監査事務局、企画管理部の現状と課題について調査をしました。

5月1日、2日

管内調査として市内全域の防災行政無線施設、公民館、学校施設、図書館、資料館、文化博物館、情報通信ネットワーク施設、市営八

入施設などの施設現状や運営状況の調査を行いました。

6月17日

付託された報告4案件と議案5件について内容調査を行いました。特に報告第8号「南丹市税条例の一部改正について」の専決処分について、施行期日が翌年度適用のものがあり専決が適当でない。議会の議決権を侵害しているとの指摘をし、理事者より今後は地方自治権を尊重し、充分精査し適切に行うとの答弁を得て可決しました。



園部図書館を視察



防災行政無線施設

産業建設常任委員会

4月21日

本委員会の所管する事務事業調査として南丹市全域における現状及び課題について、各部課長より説明を受け、見識を深める事ができました。

4月28日、30日

6月16日

3日間かけて、管内



南丹浄化センター(八木町)を視察

源機構営事業(園部八木線)、バイオエコロジーセンター、南丹浄化センター、吉富駅西地区土地区画整理事業等。園部町では、本町区画整理事業、内林土地区画整理事業、船岡浄水場、園部町農業公社等の施設の現状、及び運営状況を研修して南丹市61.6kmの広大さと今後の取り組み課題の多さを痛感させられました。

6月26日

付託された報告3件、議案6件について審議を行なった結果、報告3件は全会一致で承認。議案6件も全会一致で可決しました。



本町士地区画整理事業(園部)

厚生常任委員会



南丹病院屋上ヘリポート

向がしめされているが、地域のニーズを考慮した展開が求められています。

南丹病院では医師・看護師不足のなかで、地域医療を支える課題などが示されるなか、独立採算の難しさ

も示されていました。

5月26日

陳情書

「後期高齢者医療制度廃止法」の制定を求める意見書の提出を求める陳情書

「後期高齢者医療制度を廃止する等医療に係る高齢者の負担の増加を回避する等のための健康保険法等の一部を改正する法律案」が国会で審議され、成立するよう意見書の提出を求める。

〔陳情者〕

京都府保険医協会

理事長 関 浩

人事案件

次の方々の選任について「異議なし」としました。「敬称略」

人権擁護委員候補者

片山 勲

（園部町高屋）

小槻 忠行

（八木町神吉）

養内 千づる

（八木町池上）

高橋芳治議員が

全国市議会議長会表彰と

感謝状を受賞

去る5月28日、東京で開催された第八十四回全国市議会議長会定期総会において、高橋芳治議員が、全国市議会議長会表彰規定に基づく表彰と、全国市議会議長会地方財政委員長、地方分権改革・道州制調査特別委員会委員として感謝状を受賞しました。



お詫びと訂正

前号8ページの議案第30号すこやか子育て医療費助成条例改正の説明がすこやか手当て支給事業の内容となっていました。お詫び申し上げます。下の通り訂正します。

「居住要件3年を廃止

し、支給年齢を就学前まで引き上げ、手当額を減額する。」とあるのを、高校生は、住民税非課税世帯を対象とする。居住要件（1年以上）を廃止する。19歳未満の未就学者も対象とする。」に訂正します。

4月28日、30日、5月1日、2日、4日間にわたり、関係する45施設と一部事務組合の船井郡衛生管理組合及び業務委託先のカンポリサイクルプラザ（株）、公立南丹病院など管内視察調査を実施しました。

合併したものの、旧町から継承され、一体感の醸成には多くの課題が残っています。

特に、子育てすこやかセンターは、今年度事業で全市に広げる方



子育てすこやかセンター（園部町）を視察

南丹市の 頑張る人たち

がんばる

2 ~エコレンジャー(八木町)~



近畿バイオマスフェアに参加

第二回は八木町の森佳子^{もよこ}さんが代表を務めておられる「エコレンジャー」についてお伺いしました。



廃油を使ったキャンドルづくり

花火大会の翌日のゴミ拾いのお手伝いをやってみよう!という、小さなきっかけから始まったエコレンジャー。今では、環境問題へと幅がひろがり、いろいろな形でこの問題に取り組んでいます。10月には「エコレンジャーまつり」を開催します。

動物写真家の小原怜さんをゲストに迎え、地球温暖化をテーマにお話をさせていただきます。

みなさんに現実を伝え、何かひとつでいいから、身近かにできることからやってみる。ちょっと意識して続けてみる。やらない日があってもいい。でも、またやってみる。そんなことの積み重ねが、「当たり前」になる。その結果が大きな結果に結びつくのでは...と思っています。マイ箸を持ってみる。電球を省エネタイプに変えてみる。そこからが始まりです。

編集後記

世界的な燃油価格の高騰により、自動車の給油に悩む日々であります。また、それに伴う電気料金の値上げも懸念されます。ところで、現在、日本の発電の割合は、火力60%、原子力30%、水力9%、地熱・新エネルギー1%となっています。

火力発電の内訳を調べてみますと、石炭24%、天然ガス26%、石油等10%に分かれますが、今でも石炭が多くを占めているのには、少し驚きでした。いずれにしましても、早く燃油価格が下がってほしいものです。

(M・N)

広報委員

委員長	矢野 康弘
副委員長	仲村 学
委員	大西 一三
川勝 儀昭	小中 昭
中井 榮樹	中川 幸朗

9月定例会の予定

- 2日(火) 本会議(開会、議案提案説明)
- 9日(火) 本会議(一般質問)
- 10日(水) 本会議(一般質問)
- 11日(木) 本会議(一般質問)
- 25日(木) 本会議(採決、閉会)

8月25日(月)午後5時までに提出された請願・陳情等は9月定例会で取り扱われます。

会議時間はいずれも午前10時からの予定です。この日程については予定であり、予告なく変更となる場合があります。